



順天堂大学医学部附属静岡病院

開設者／学校法人順天堂

所在地／〒410-2295 伊豆の国市長岡1129

URL／<http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp>



病床数 633床

医師数 279名

指導医数 97名

入院患者／日 599名

外来患者／日 1,781名

救急医療／日 37.1名



院長
佐藤 浩一



順天堂大学の附属病院として、昭和42年から現在の伊豆の国市で診療を行っています。大学の附属病院として34の診療科を持っており、病理検査、放射線診断などすべて院内で行っています。ドクターヘリを有する救命救急センターには4名の指導医を含め約11名の救急医のスタッフがおり、24時間救急診療を行っています。また総合周産期母子医療センターおよび12床のNICUのある新生児センターは静岡県東部の周産期医療の中核を担っています。内科系の各科はそれぞれ複数の専門医がおり、研修医の指導に当たっています。ウイルス性肝炎、糖尿病、白血病など全て県内有数の治療数を誇っています。外科系の診療では一般外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科などの診療科も多数の手術症例がありますが、さらに心臓血管外科や呼吸器外科など極めて高度の手術も手掛けています。

以上のような病院の体制で2年間の初期研修を最も充実して過ごしてもらえるように努力しています。また休みには伊豆半島の豊かな自然を楽しむことができるのも当院の特徴と言えます。



診療科目

内、膠内、アレ、リウ、消、呼、血内、腎内、糖内、循、外、麻、ペインクリニック、脳神、整、心外、呼外、新生児科、形、眼、耳、神内、皮、泌、産婦、小、メンタル、放、救急、病理、臨床検査、リハビリ、小児外科、歯科口腔外科（34診療科）

処 遇（参考：R06募集）

身 分	研修医			
給 与	1 年 次 基 本 給 / 月	340,000円	2 年 次 基 本 給 / 月	380,000円
	1 年 次 賞 与 / 年	—	2 年 次 賞 与 / 年	—
	諸 手 当	各種手当別途支給・当直料（10,000円～20,000円）		
	1 年 次 基 準 支 給 額 / 年	4,080,000円	2 年 次 基 準 支 給 額 / 年	4,560,000円
宿 舎	20,500円 / 月（全研修医に用意）		当 直	2～4回 / 月
保 険	共済保険、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（1年目は病院にて）加入			

臨床研修医（初期研修医）の研修プログラム

- **プログラム名** 順天堂大学医学部附属静岡病院初期臨床研修基本プログラム
順天堂大学医学部附属静岡病院初期臨床研修産婦人科・新生児・小児科プログラム
- **募集定員** 基本プログラム 37名（予定）
産婦人科・新生児・小児科プログラム 4名（予定）
- **協力型病院** 順天堂医院、順天堂浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂練馬病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、沼津中央病院、NTT東日本伊豆病院、聖隷浜松病院、静岡県立こども病院、静岡県立総合病院、聖隷三方原病院
- **協力施設** リハビリテーション中伊豆温泉病院、中伊豆リハビリテーションセンター、長岡リハビリテーション病院、大島医療センター、島田総合病院、下田メディカルセンター、西伊豆健育会病院、伊豆赤十字病院、三島共立病院、熱川温泉病院、さくら醫院

プログラムの特色

- ① 救命救急センター・ER部門でのプライマリ・ケアから高度救命救急医療の修得
- ② ドクターヘリによる現場出動・初期治療の修得
- ③ 地域医療・へき地医療の修得
- ④ 大学附属病院として各々指導医の専門性に裏付けられたより深い総合医療の修得

基本1年次スケジュール	内科6ヶ月		救急医療3ヶ月		選択科	必修科2ヶ月
基本2年次スケジュール	選択科6ヶ月		地域	必修科2ヶ月	選択科3ヶ月	
産婦人科・新生児科・小児科 1年次スケジュール	必修科2ヶ月	内科3ヶ月	救急医療2ヶ月	選択科	内科3ヶ月	麻酔科
産婦人科・新生児科・小児科 2年次スケジュール	麻酔科	必修科2ヶ月	選択科4ヶ月		地域	選択科4ヶ月

研修医からのメッセージ ————— 順天堂大学医学部附属静岡病院 初期臨床研修医 苅部 伶

誰もが直面する壁、それは研修先選びだと思えます。探せば探すほど、見学すればするほど病院それぞれの個性があり選択を難しくするでしょう。先生たちからは初期研修の2年が医師人生の礎になると言われ、失敗できないという気持ちから何がいいのか悪いのかわからなくなるなんてことも多々あると思います。学生時代の私も散々悩みましたが、当院で研修された先輩方は口を揃えて、楽しく充実した研修を行っていると仰っていて、そんな声には私は賭けることにしました。

現在研修医1年目は30人所属しています。研修医の数は年々増えておりますが、院内に広い研修医室があり、個人のデスクで勉強するスペースが設けられていますので、同期や先輩にいつでも相談できる環境であり、同室にて日常的に電子カルテを開いて症例についてディスカッションすることもあります。仕事が終われば、研修医の同期・先輩と一緒に食事や休日にも一緒に出かけたりもします。2年間しかない初期研修で2倍も3倍も学ぶことができるそんな環境がある病院だと実際に感じています。

当院のカリキュラムは必修科が1ヶ月毎に変わります。多くの診療科を経験でき、進路を見極めることが必要な1年目において大きなアドバンテージとなるのではないのでしょうか。また、2年目は選択期間が長いので、様々な診療科で研修してジェネラルに力をつけたり、自分の進む診療科に関連した診療科を集中的に選択したり、人それぞれ自由にカリキュラムを組むことができます。救急外来では科の垣根を感じることなくコンサルトでき、多くを学べるため自身の成長につながることも多いです。ドクターヘリが運航しているということもあり、軽症から重症まで多くの症例が経験できます。静岡東部の三次救急ということもあり野戦病院の面もありますが、大学病院ならではのアカデミックな面も兼ね備えています。そのため、圧倒的な手技数に加えて、最新のエビデンスに基づいた治療も先生たちから同時に学び総合的に成長していくことができます。

また、当院のもう一つの特徴は、伊豆という観光地の中の温泉街に立地しているということです。仕事が終われば仲間たちと温泉で一息ついたり、釣りやゴルフに出かけたりと、まわりにあふれるレジャーも日頃の疲れを癒し、研修生活に彩を添えてくれます。意外にもご飯が美味しいところです。まわりのお店では、大将や女将さんが応援してくれて、とてもよくしてくれます。沼津港が近くにあり、魚もおいしいです。自然に囲まれた場所ではありますが、実は東京へのアクセスも良く、休日を東京で過ごす同期もいます。

入職からは早くも1年が経とうとしておりますが、働けば働くほどに、充実した研修生活が先輩方の目を輝かせていたのだと実感する毎日です。家族のような同期・先輩、優しく熱心な先生方や看護師、コメディカルの方々、温かい患者さんたちに囲まれ、支えていただきながら、一緒に患者さんの抱える問題解決への道をお手伝いさせていただいております。日々切磋琢磨しあえる仲間や周囲のサポートにより“楽しく充実した研修”が出来ているのだなと日々感じずにはいられません。皆さんも是非順天堂静岡病院の一員になり、ともに医師人生の礎を富士山に見守られながら築いていきたいと思います。

応募手続

応募資格	医師国家試験を受験しマッチング・プログラムに参加する者			
必要書類	初期臨床研修医応募申込書、小論文課題、卒業見込証明書、成績証明書、C B T結果(写し)、推薦状、受験票			
募集締切	令和7年7月中旬予定			
選考方法	筆記試験・面接試験・書類審査			
選考時期	令和7年7月～8月予定			
応募連絡先	担当課	臨床研修センター	担当者	石橋基弘、松本良太
	T E L	055-948-3111 内線3104	F A X	055-948-5088
	E-mail	shizuoka-kenshu@juntendo.ac.jp		